

波紋

1993 7 第97号

モーリン・グループ 山口・広島 社員旅行



朝早くから夜遅くまで、目一杯楽しんで来ました。モーリングループも、毎年人数が増え、大所帯になってきました。一人、人が増える度、楽しさも増していくような気がします。(大和田夕美)

● 交差点

「凡事徹底」

喫煙は、ガンの原因になる。

タバコを吸う人は、若死にする。

喫煙は、人を殺す。

「喫煙は、毎日二十人の国民を殺している。」とタバコの外側の包装紙に印刷させている国も海外にあります。

日本のタバコに印刷されている言葉の「健康を損なう恐れがある」というのとは雲泥の差ですね。

六月のアメリカ研修の帰国報告会でもレストランやホテルの客室、飛行機の予約時に、喫煙者は、差別を受けると言われています。

「タバコを吸う人は、人間ではない」そんな風を感じたと聞きました。

会社内でエラ(偉)そうに説教をしている本人が、たかがタバコ位、止められなくては話にならないですね。周りを見渡せば、社内の20代の若い人の90%は吸いませんが、40才以上の男子に喫煙者が多い。(特に妻帯者で、子供もいる人に)

「凡事徹底」と言っている本人が禁煙しなければ、何事も始まりませんね。「大反省!!」

森 信之

トシ君の一方通行 「ある社長さんのお話」

ある社長さんがある人の話を聞きました。その人が交通規則違反でオマワリさんに見つかりました。朝、通学路の為一定時間に進入してはいけない場所に進入し、出たところでオマワリさんにハイ罰金ですよと、こうなつた訳であります。そこでその人噛み付いた。大体出口で待っているとは何事か。通学路に進入してきては学童に危険であるというなら、何故危険回避で入り口で見張っているべきで、それが安全というものである。罰金取る為の目的で、本来の警察の仕事の一つである。安全の確保ではない…。

まあ、成程そういう考えがあるのかと。そこである社長さん、その話をしてから今度は自分のご意見。じゃあ安全の確保というなら、全国の入り口でオマワリさんが待機しているのか。それとそういう違反はしてはいけないという教育を受けて資格を得ている筈である。罰金も予算の内に入っているから止むを得ない。それはへ理屈であると…。

まあ、成程そういう考えもあるのかと。皆さんはどっちですか？でもね、考え方には色々あって、色々な見方という事は必要であるなどと思いませんか？



木村 英利

森松クインテット

「S」 「S」

「整理」「整頓」「清潔」「清掃」「躰」のことを5Sということは、皆さんはすでに承知していると思います。この言葉を知っていてもいざ実行となるとそれはとても難しいことではないんですがなかなか出来ないですね。なぜ出来ないかと言うと、汚れているとか整頓されていなくてという状況にただ気が付かないだけなんです。ですから誰かが教えてあげないと「5S」「5S」と叫んでも前には進みません。私なりに具体的に一つ一つ進めていくことを決心しました。まず今、掃除当番が毎日やっている所、一週間に一度だけやる所、そして社内にある百鉢位の植木の水やりや肥料やりのこと、窓にかかっているたくさんのカーテンの洗濯のこと、そして勿論自分達の机の周りや共有の棚や書類やサンプル帳の整理…等々、やらなければならぬことが山程あります。でも皆で手分けしてきちんと出来るようになるまで、私は頑張りたいと思います。

「皆さん素直に協力して下さいね!!」



森 ちか

喜怒哀楽 「出産」

平成5年5月5日に、待望の女の子が誕生しました。一番目は男の子でしたので、順番が逆だったらよかったな！とも思いましたが、そんな贅沢な事を言っているのは、世間様にとっても申し訳ないと反省しています。

今回の出産は、とても安産でした。私が、立ち会っていたからかも知れませんが、病院の方がそう言っていました。

妻が分娩室に入ったのが、夜中の2時頃でした。その時私は、病室で待機していました。が、じつとしていられずに廊下をウロウロしていたら、看護婦さんが分娩室へ入ってしまいましたよ！と声をかけてくれましたので、とりあえず入る事にしました。その時、夜中の3時半頃でした。事前に、満潮の時間を調べていたので心構えはできていたつもりでしたが、時間が迫るにつれ、気持ちがとても動揺してしまいました。少し過ち、分娩室の中が慌しくなり始め、そろそろ生まれるのかと、私の中で思っていました。助産婦さんの用意ができ、妻も体制を整え、指示通りに行動し始めた時、何故か私も一緒に力が入っていました。そして約30分後、頭が見え、手が見え、体が全部出た頃に、オギャーといううぶ声が聞こえてきました。その時の妻の顔は、10ヶ月かけて偉大な仕事を成し遂げた素晴らしい顔でした。私は、心の中で拍手をしていました。

とても立派に見える妻へ、在り来たりな言葉でありがとうと言った気がしますが、もう一度言います。「本当に有難う…。」

突撃インタビュー

毎日毎日厳しい納期にも耐え裁断をしています。今回の慰安旅行では初幹事にチャレンジし、名幹事ぶりを発揮され、今後の期待も大きい……この人。

成瀬係長編



- Q 将来、子供に何になってもらいたいですか？
- A 子供達の自主性を大切にしたい。
 範晃君……ほく、スーパースイヤー
 徹哉君……ダイレンジャー
 (T……やめて、そうゆうの)
- Q あなたの苦手なもの(事)は？
- A 飛行機(高所恐怖症)
 血を見る事(輸血で自分の血を見て貧血を起こした。)
- Q もし、あなたが透明人間だったら、まず先に何をしたいですか？
- A 家族に知らせる
 見えなくなったら心配するでしょ。
 (I……ごもっともですね)

- Q 今までに作った、又は食べたお勧めメニューは？
- A 男子厨房に入るべからず。
 今まで料理を作った事がない。
 女房よりうまい料理が作れるとは思わない。(ヨイシヨ)
- Q 10年後、自分は何をしてると思いますか？
- A 独立して成瀬裁断所でも作るかな？
 そんな時が来たら、宜しくお願いします。
 (T……カット賃安くして下さいネ)
- Q これぞ名古屋(森松)ノと自慢できるもの(こと)は？
- A 肥満でお悩みの男性諸君。森松は、入社3ヶ月で5キロは痩せられるぞ。
 別名 エステティック森松!
- Q 今度、生まれ変わるとしたら男性・女性どちらがいいですか？
- A 男性だったら大実業家の一人息子
 女性だったら大資本家の一人娘
- Q 休日は子供と何をして遊んでいますか？
- A お昼寝……。
 子供達「遊んでヨー」
- Q 家族の方へ一言。
- A 子供……元気が一番。
 妻……いつも本当に有難う。

奥様にインタビュー

- Q プロポーズの言葉を教えてください。
- A そろそろ結婚しようか。
 (付き合っている期間が8年も有りましたから……)
 (I……8年、すごい)
- Q お互い、どう呼び合っていますか？
- A お父さん。お母さん。
- Q 御主人へ一言。
- A 体をとんでも酷使している様なので、休日はゆっくり休んで体を大切にして下さい。
- Q 範晃君、徹哉君からお父さんへ一言。
- A 範晃君……サッカーとかドッジボールをたまには一緒にやって下さい。
 徹哉君……ダイレンジャーのおもちやを買って。

御協力有難うございました。

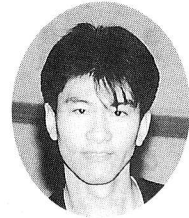


上より、成瀬係長、範晃君、奥様、徹哉君

平成5年7月の社内行事

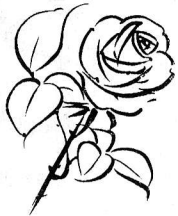
- 2日(金) K-I 十八時
- 3日(土) 第一土曜日休み
- 5日(月) 坂柳さん誕生日
- 7日(水) 編集会議 十八時
- 9日(金) 加藤先生来社 十三時
- 10日(土) K-I 十八時
- 10日(土) 野球・練習試合 十八時
- 10日(土) 第二土曜日休み
- 15日(木) 素麺会 十七時
- 16日(金) 栗脇さん誕生日
- 16日(金) 改善委員会 十八時
- 17日(土) 第三土曜日休み
- 18日(日) 西脇さん誕生日
- 23日(金) K-I 十八時
- 24日(土) 誕生会 十二時
- 26日(月) 経営会議 十四時
- 26日(月) 営業会議 十五時半
- 26日(月) 野球・対大興様 十八時
- 26日(月) 谷澤さん誕生日
- 27日(火) 岡田さん誕生日
- 29日(木) K-II 十七時半
- 30日(金) K-I 十八時
- 31日(土) ビア・パーティー 十八時

新・編集長挨拶



高橋 武夫

今月の波紋7月号より、編集長に任命されました高橋です。よろしくお願ひ致します。私は、入社して4年目になります。突然の任命でしたが、4年目という少しの余裕があったのでしょうか、素直に引き受けることができました。以前から、編集委員ではありましたが、少し社内行事の担当をしたただけ、あまり役に立っていませんでした。六代目の編集長ということになります。今まで築きあげてきた社内報の特色を活かし、より親しまれる社内報作りを目指して頑張っていきます。何卒、よろしくお願ひ致します。



ク イ ズ

<6月号の答え>

Aに入る数字は、8です。

※正解者の方には、商品の発送をもって、発表にかえさせていただきます。

$$\begin{array}{r} 9 - 5 = 4 \\ \times \\ 6 \div 3 = 2 \\ \parallel \\ 1 + 7 = 8 \end{array}$$

編集後記

森松へ入社して三度目の社員旅行。今年、高校時代に行った懐しの場所・広島山口でしたが、以前と違った感想・思い出を持って帰って来ました。原爆資料館の焼け焦げたお弁当箱、破れ破れの子供服、人が消え、影だけ残った石段……。これらの物は、戦争の残酷さを無言で強く語っていました。二度と、繰り返してはいけな戦争を深く感じました。さて、梅雨が明けると夏本番!! 暑いのが苦手な私には、大変辛い季節ですが健康管理に気をつけて乗り切りたいと思います。

岩田ひとみ

編集発行者
森松株式会社

発行責任者
高橋武夫

平成5年7月1日
第97号